

育てよう!子どもたちの確かな学び

●子どもたちには、どのような学力が求められているのでしょうか。家族で問題を解いてみませんか。

これは、平成25年度全国学力調査(4月24日実施)で
出題された小学校6年生の算数Bの問題です。(4年生の学習内容です。)

B問題は、基礎的な知識・技能等を実生活の様々な
場面に活用する力を問う内容になっています。

1

ゆりえさんたちは、遊園地に行く計画を立てています。

(1) ゆりえさんとひさこさんは、乗り物券を1人8枚ずつ買う予定です。
この遊園地の乗り物と、乗るために必要な乗り物券の枚数は、次の表のとおりです。

乗り物	乗り物券の枚数(枚)
ジェットコースター	5
観覧車	4
ボート	3
ゴーカート	2
コーヒーカップ	1
メリーゴーランド	1

2人は、それぞれ下の乗り物に乗る計画を立てました。

ゆりえ 観覧車、メリーゴーランド ひさこ ジェットコースター、コーヒーカップ

2人は、まだ乗り物券が残るので、ほかに乗る乗り物を下のよう考えました。

- ・残りの乗り物券で乗る。
- ・2人とも選んでいない乗り物に乗る。
- ・2人で同じ乗り物に乗る。

2人は、どの乗り物に乗ることができますか。答えを書きましょう。

(2) としおさんは、乗り物に乗る計画を立てたところ、乗り物券が15枚必要になることがわかりました。
乗り物券と乗り放題券(フリーパス)の料金は、下の表のとおりです。

乗り物券		乗り放題券
1枚券 100円	11枚つづり 1000円	1500円

次の1から3までの券の買い方のうち、乗り物券15枚分の料金が
いちばん安くなるのはどれですか。1つ選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号の買い方がいちばん安くなるわけを、言葉と数を使って書
きましょう。

- 1枚券を15枚買う。
- 11枚つづりの乗り物券を1つと、1枚券を4枚買う。
- 乗り放題券を買う。

※答えは8面へ

平均正答率
岡山県50.7%
(全国51.0%)

平均正答率
岡山県53.3%
(全国50.8%)

3つの条件全てに当てはまる乗り物を、筋道立てて考える力が問われています。

3つの買い方の料金を求めて比較する力、そして、最も安くなる買い方を選んだ理由を説明する力が問われています。

身近な生活や社会の中で生きて働く力が求められています

多くの情報があふれる現代社会において、目的に応じて資料を分類整理し、表・グラフを読み取ることにより、的確な判断や合理的な予測をしようとする態度や能力は、特に重要になっています。上記の問題も、遊園地の乗り物券の買い方について資料や条件を基に考え、判断する場面が設定されており、まさに、身近な生活の中で必要な力が問われています。

家庭で、このようなことに気をつけてみませんか。

家庭での会話は、**表現力**を養う貴重な場です。子ども自身が考えたり、判断した理由をしっかり受け止めるとともに、子どもの説明に対し、「なぜそう思ったの?」と聞き返すことも大切です。

生活の中で、本や新聞等の活字を読む時間を意識して作ってみませんか。家族で読書し、語り合ったり、家族でニュースについて話し合うことも、子どもたちの**自ら考える力や判断する力**をはぐくむことにつながります。

子どもたちが家族の一員として役割をもち、掃除や炊事等の手伝いをする事は、学校で学んだことを実際の場面で生かすこととなります。計画的、効率的に作業する力(**段取り能力**)を身につける機会にもなります。

～学びを支える学習の基盤づくりを～

これは、平成25年度全国学力調査(4月24日実施)で
出題された小学校6年生の算数Aの問題です。(4年生の学習内容です。)

$$0.75 + 0.9 = ?$$

0.84という誤りが多いです。なぜでしょうか…?

平均正答率
岡山県61.1%
(全国71.3%)

A問題は、身につけておかなければ、後の学年等の学習に影響を及ぼす内容が出題されています。

漢字や文の構成(主語・述語)、計算、小数や分数の意味など、基礎基本の確実な定着には、毎日の家庭学習が重要となります。

家庭学習の時間の確保が大切!!

自らの力で未来を切り拓く力の育成につながります

自分の夢や目標を実現するために、様々な課題を自らの力で解決し、強い意志をもった人格を形成することが期待できます。

家庭学習の意義は?

学習習慣の確立 自律的な行動や、自分で時間をコントロールする力が身につきます。

学習内容の定着 学習内容や学習の仕方が身につきます。

学ぶ意欲の喚起 分かる喜び・やり遂げた満足感は自信や意欲につながります。

家庭学習のこれだけは!

決まった時刻に勉強する

「1日に○時間(○分)勉強する」と、「時間」を決めるだけでなく、「○時から○時まで勉強する」と「時刻」を決めることも、「自ら学ぶ」習慣や、生活にけじめをつけることにつながります。

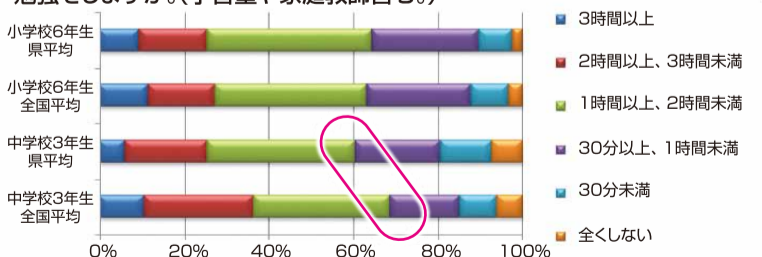
集中できる環境を

せっかく学習時間を確保しても、「ながら勉強」では、なかなか効果は表れません。集中できる落ち着いた環境づくりに、保護者の方も協力してください。

小さなステップの継続

苦手なことは多くはできません。まずは、小さなステップ(目標)を設け、一つ一つやり遂げることが大切です。努力に対し「がんばったね」のひと声も励みになりますね。

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師含む。)



岡山県では、学校の授業時間以外に普段1日あたり1時間以上勉強している子どもの割合が、小学校6年生で64.3%(全国平均63.2%)、中学校3年生で60.4%(全国平均68.6%)となっています。全国に比べ、中学生の学習時間が少なくなっています。(平成25年度全国学力・学習状況調査結果より)